

第 22 回地方公務員共済資金運用委員会議事要旨

1. 日 時：平成 30 年 11 月 9 日（金） 10:00～10:40
2. 場 所：地方公務員共済組合連合会 特別会議室
3. 出席した委員：
 - ・若杉座長 ・川北委員 ・喜多委員 ・佐藤委員 ・芹田委員
 - ・高山委員 ・竹原委員 ・徳島委員 ・長澤委員 ・森本委員
4. 議 事
 - (1) 平成 30 年度第 1 四半期及び第 2 四半期の各積立金の運用状況
 - (2) 平成 30 年度第 1 四半期及び第 2 四半期の各積立金のリスク管理状況
 - (3) 退職等年金給付積立金における財政再計算等について

〈議事の概要〉

- ・事務局から上記議題について資料の説明が行われた。
- ・その後、意見交換が行われた。

- (2) 平成 30 年度第 1 四半期及び第 2 四半期の各積立金のリスク管理状況
 - 外国債券の格付制限緩和の趣旨確認をお願いする。

- オルタナティブ資産の現状と、今後の見込みについて伺いたい。
 - 第 2 四半期現在で、残高が 558 億円、1・2 階に占める割合は上限 5 % に対して約 0.25%である。今後も、時間分散等に配慮しながら、採用を検討していきたい。

- リスクの大きさについて、日ごろから想定しておくことは重要だと思っている。10 月の相場においてリスクが顕在化したと言えると思うが、想定リスクの中でどの程度の規模であったと評価されているのか。
 - 10 月の相場については、例えばバリュー・アット・リスク値の観点から見た場合、想定リスクの範囲内にあることを確認しているが、今後のマーケット動向に関してはリスク管理の観点からも慎重に見ていきたい。

以上